

令和6年度 第2回但馬地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和7年2月5日（水） 13時30分～15時40分

場 所：WEB開催

次 第：

1. 開会
2. 令和6年度の活動内容について
 - (1)但馬地域公共交通計画の施策の進捗状況
 - (2)香美町小代区におけるデマンド型交通導入
3. WILLER(株)の取組について
4. 令和7年度の活動内容（案）とスケジュール（案）について
5. 閉会

議事要旨

○主な意見

[令和6年度の活動内容について（但馬地域公共交通計画の施策の進捗状況）]

委 員：豊岡市の「のんなるかー」と「チクタク」との違いは何か。

委 員：「チクタク」は市が車両を提供し、住民が運転。「のんなるかー」は住民が自身のマイカーを活用し乗り合い。共助の意識向上が期待されるが、無償運行では利用者が気を遣うという声もあり、有償化の可能性を検討中。

委 員：養父市の自動運転バスについて、来年度以降も継続する方針か。

委 員：実験は養父市が主体となり、全但バスも関与。将来的に全但バスが管理・運営する可能性を検討しているが、継続して実施するかは未定。

[令和6年度の活動内容について（香美町小代区におけるデマンド型交通導入）]

委 員：利用者数が少ないとのことだが、住民ドライバー制度の導入は検討しているか。

事務局：現時点でその予定はない。運行区域を射添地区まで含める運行効率化を検討中。

委 員：ドライバー不足が進む中、住民ドライバー制度の導入に向けた気運醸成も検討いただきたい。

[WILLER(株)の取組について]

委 員：予約制乗り合い交通について、タクシーとの棲み分けはどのように考えているか。

委 員：利用人数や距離と運賃の関係が異なり、状況によって利用者が使い分けている。

- 委員：高齢者のスマホ活用についての対策はしているか。
- 委員：スマートフォンがなくても電話での予約が可能。高齢者向けのスマホ教室を実施し、利便性向上を図る。
- 委員：公共ライドシェアについては、バス事業者が担うことも可能ではないか。従来のバス事業を展開しつつ、住民ドライバーを活用した新たなビジネスモデルを並行して展開する形である。
- 委員：京丹後市の事例では、現在は地域の交通事業者と協力しながら運営しているが、完全委託の可能性も検討中。
- 委員：ドライバーは「すき間時間」で働けるような仕組みか。
- 委員：ドライバーは事前にシフトを組むような仕組みであったが、実施する中で様々な課題が出てきた。サポート体制の整備が今後の課題。

以上